



真実は毎日の生き方の中にあります

校長 赤松 弘一



1学期末考査が終わりました。お疲れ様でした。1年生にとっては初めての定期考査となりました。どのように準備をしたらよいのか、悩んだ人も多かったでしょうね。1年生の学年通信ではタブレットを使った勉強方法なども紹介されていました。勉強の仕方は一通りではありません、いろいろ試してみて自分に合った方法を身に付ければよいと思います。

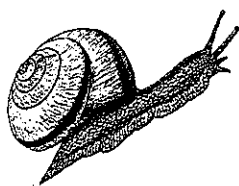
テスト前のまとまった勉強は効果があると思いますが、やはり毎日の復習など学習する習慣が大切です。スポーツも同じです。試合前に急にトレーニングしても力が急に伸びることはありません。毎日の地道な練習やトレーニングを根気よく続けることが必要です。毎日続けていても力が伸びたのかは実感できません。それでも自分を信じて続けていくと、ある時できなかったことができたり、難しいと感じていたことを容易に乗り越えられたりして、力の伸びを実感するのです。しかし、結果が出ないからと、つい怠けてしまったり、止めてしまったりした人は残念ながらその達成感を感じることができないでしょう。

毎日3つの漢字と英単語を完全に暗記する。これを欠かさずやると、1年間で覚えられる数は1000を超えます。毎日やる量は少ないですが、「しっかりやる。1日もさばらない」で取り組みれば、大きな成果を得られます。1000の単語や漢字を1週間で覚

えるのは不可能です。勉強は小さな努力の積み重ねです。テストはそんな自分の努力を確かめるためのステージだと思います。何も準備せず、努力せずでは成果は期待できません。「テストから逃げたい」という気持ちは分かりますが、テストも何もなかったら、本当に努力を続けられるでしょうか？テストがあるから仕方なくであっても勉強に取り組むのではないのでしょうか。しかしもっと積極的に捉えて、自分にチャレンジする場としてテストを利用し、自分の成長や努力の成果を試し、その達成感を感じるための機会としてください。そのために日々の努力を続けてほしいと思います。

長崎の平和祈念像を作った故北村西望氏が像の制作中に、足元にいたかたつむりが翌朝には10.mの高さの像の頂にいたのを見て感動して詠んだ句です

たゆまざる
歩みおそろし
かたつむり



まもなく総体が始まりますね。まさに総体は毎日の部活動で重ねた地道な努力の結果を試すチャレンジの場です。必ずしも努力が報われるとは限りません。しかし、それまで積み上げてきた努力、我慢する心、もっとうまくなろう、記録を伸ばそうという向上心は、勝利以上に生涯に渡って皆さんに力を与えてくれます。それは特にくじけそうになったときに皆さんを支えてくれると思います。テストが終わったこの日から、新たな努力を始めてください。